

落葉処理の徹底について（号外第9号）

令和3年11月12日
富山県富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

1 黒星病秋型病斑発生状況について

10月中旬調査の黒星病秋型病斑葉（写真）の発生率は年々減少傾向でしたが、表のとおり、本年は「幸水」、「豊水」とも発生率がやや高くなっています。（本年は「あきづき」、「新高」は未調査）。また、本年、11月8日にも調査をしたところ、「幸水」、「豊水」とも10月中旬よりも発生率が高くなっています（「幸水」10.4%→14.4%、「豊水」9.5%→21.0%）。



写真 黒星病秋型病斑
（薄墨色の黒い斑点）

表 10月中旬の黒星病秋型病斑葉発生率（%）

品 種	R 3	R 2	R 1	H30	H29	H28	H27
幸水	10.4	1.7	2.0	5.7	10.3	29.1	53.2
豊水	9.5	4.7	6.3	11.5	28.8	39.8	40.8
あきづき	—	0.0	1.0	0.2	3.6	5.6	15.5
新高	—	0.7	0.5	1.1	3.3	22.7	45.0

※本年は「あきづき」、「新高」は未調査。

2 落葉処理について

黒星病秋型病斑葉が多いことから、これらの落葉を放置すると、翌春、地表面から黒星病菌胞子が飛散し、5月頃からの幼果への病斑発生の危険性が高まります。

落葉処理の未実施あるいは処理精度の低い園地は、自園地のみでなく、隣接園地（他の生産者）にも被害を及ぼします（産地全体での取り組みが重要です）。

※園地周囲や側溝、幹元の落葉を、松葉ぼうき等で集めて処分する、園地内部でモアやロータリー等を使用する場合は、低速で走行する等丁寧に葉を粉砕し、すきこんで下さい。

※なお、園地外に落葉を持ち出す場合は、適切に処分してください。

落葉処理の詳細については栽培情報第8号で確認をお願いします。

来春の芽基部病斑発生防止のため、3回目の秋期防除も確実に実施してください。